



本阿弥光悦書 依屋宗達画《鹿下絵和歌巻》(部分) 桃山時代・江戸時代 1610年代 Photo:Seiji Shimizu, National Institute for Cultural Properties, Tokyo



稀代の天才アートディレクター
日本美を極めた桃山の異才
世界を震撼させた浮世絵界の鬼才

光悦

宗達

北斎

海を渡った、 幻の名品、 里帰り大公開。

記念講演会

会場：福岡市美術館1階講堂

「シアトル美術館 日本・東洋美術コレクションの魅力」

講師：白原由起子氏
(シアトル美術館ゲストキュレーター/
根津美術館学芸課長)

日時：2010年5月23日(日) 午後2時～

「帰ってきた伊藤伝右衛門の襖絵 —シアトル美術館の桃山絵画—」

講師：渡邊雄二氏
(福岡市美術館学芸課長)

日時：2010年6月20日(日) 午後2時～

※いずれも聴講無料。お申し込みは、往復はがき(1枚1名様)に住所・氏名・電話番号・聴講希望日(両日同時希望可)をお書きの上、下記までお送り下さい。
白原氏講演会は5月18日必着。渡邊氏講演会は6月15日必着。応募多数の場合は抽選となります。

〒810-0051
福岡市中央区大濠公園1-6福岡市美術館内
「シアトル美術館展講演会」係



福岡市美術館
Fukuoka Art Museum

福岡市中央区大濠公園1-6
お問い合わせ/TEL 092-714-6051
http://www.fukuoka-art-museum.jp

◆観覧料/一般：シアトル美術館展特別価格!
1,000円(800円)
高大生：800円(600円)
小中生：500円(300円)

()内は前売料金および20名様以上の団体、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、シルバー手帳提示者の料金
◆前売り券販売所：ローソンチケット0570-000-777(Lコード：89034)、チケットぴあ 0570-02-9999(Pコード：764-131)
ほか福岡市内主要プレイガイドで4月23日(金)より発売

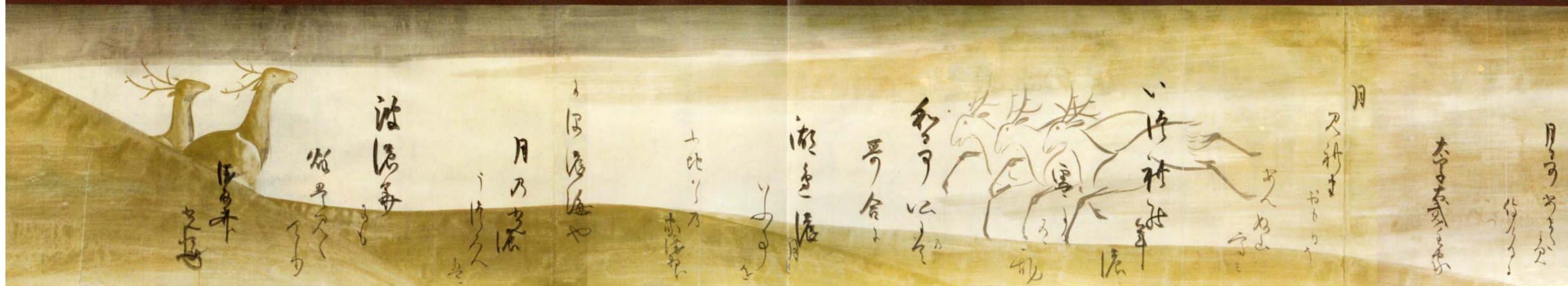
◆主催：福岡市美術館、読売新聞西部本社、シアトル美術館、NHK福岡放送局
◆後援：外務省、文化庁、アメリカ大使館、(財)福岡市文化芸術振興財団 ◆協賛：光村印刷
◆協力：ANA、NCA、STARBUCKS COFFEE

世界中的美術品を網羅する アメ리카屈指の美術館
シヤトル美術館所蔵
SEATTLE ART MUSEUM
日本・東洋美術名品展
MASTERPIECES OF ASIAN ART FROM THE SEATTLE ART MUSEUM - LUMINOUS JEWELS -

2010年
5月23日^[日] - 7月19日^[月・祝]

開館時間：9:30 - 17:30 [入館は17:00まで]
*7月は日曜・祝日を除いて19:30まで開館 [入館は19:00まで]
休館日：月曜日 [ただし7月19日(月・祝)は開館]

SEATTLE ART MUSEUM
福岡市美術館
たぐいまれな
ニッポン。



本阿弥光悦書 依屋宗達画《鹿下絵和歌巻》(部分) 桃山時代-江戸時代 1610年代 Photo Seiji Shiroma, National Institute for Cultural Properties, Tokyo

美しきアジアの玉手箱
世界中の美術品を網羅する
アメリカ屈指の美術館 シアトル美術館所蔵
日本・東洋美術名品展
MASTERPIECES OF ASIAN ART FROM THE SEATTLE ART MUSEUM — JUMBO BOX JEWELS

1933年に設立されたシアトル美術館は、世界中の美術品を網羅するアメリカ屈指の美術館です。同館を代表するのは7000件を数える日本・東洋美術コレクションで、今回その中から精選された98件が福岡市美術館にやってきます。

展示作品は、日本にあれば国宝・重要文化財クラスの逸品が目白押し。桃山・江戸初期における二大巨匠、依屋宗達と本阿弥光悦のコラボレーション作品として有名な「鹿下絵和歌巻」は、後半の約9メートルが同館に所蔵されており、それを全面巻き替えなしで一挙公開いたします。また、京都・龍安寺の方丈を飾っていた襖絵で、福岡の炭鋌王・伊藤伝右衛門の手にも渡ったことのある「開茶図」や、強烈な意匠性を見せる屏風「鳥図」など金碧画の大作、葛飾北斎の肉筆浮世絵、さらに古くは「石山切」や「地獄草紙断簡」といった平安・鎌倉時代の書画もならびます。その他、日本・中国の陶磁・漆工芸や、アジアの宗教彫刻など、多岐にわたる古美術の逸品が賑やかに展示されます。

シアトル美術館のコレクションがアメリカ国外で一堂に展示される機会が本展が初めて。まほろしの逸品に出会える、またとないチャンスです。



《粉彩梅樹椿文盤》 清時代 雍正年間(1723-35)
Photo Paul Macapia



《菩薩立像》 唐時代 8世紀前半
Photo Susan A. Cole



《石山切》 伝・藤原定信 平安時代 12世紀前半
Photo Paul Macapia



《浦島舟絵手箱》 鎌倉時代 14世紀
Photo Seattle Art Museum



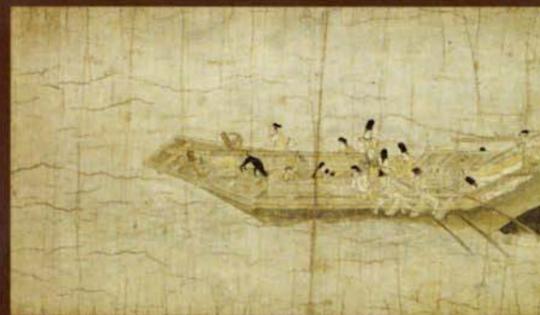
《紅釉瓶》 清時代 18世紀前半
Photo Susan A. Cole



《鳥図》 江戸時代 17世紀前半 Photo Seiji Shiroma, National Institute for Cultural Properties, Tokyo



葛飾北斎《五美人図》
江戸時代 文化年間頃(1804-18)
Photo Susan A. Cole



《北野天神縁起絵巻断簡 船出配流》 鎌倉時代(1278) Photo Susan A. Cole



《青磁象嵌菊花文蓋托》
韓国 高麗時代 12世紀
Photo Susan A. Cole



《地獄草紙断簡 呼声地獄(部分)》
平安時代末期-鎌倉時代初期 1200年頃
Photo Susan A. Cole



《インドラ坐像》 ネパール
マッラ王朝 13世紀頃
Photo Paul Macapia